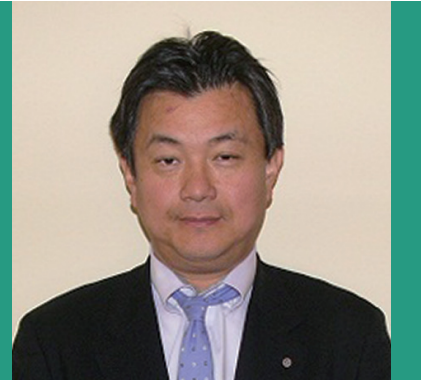


2018-19年度 国際ロータリー2760地区 地区大会に参加して

三河安城ロータリークラブ
渡邊 真一



永らく名古屋で開催されてきた地区大会が今年については蒲郡で行われるという事で、どのような企画になるのか？と感じながら参加させて頂きました。

二日間の大会を通して感じたことは、従来のルーティンと言うか定型化したものに良い意味で手加えられ、まさに地元色の濃い手作り感を十分に感じさせる新鮮な感動を期間中に亘っ

て濃密に体感することができたことです。

今年のR I会長のテーマが「インスピレーションになろう！」そして、2760地区村井ガバナーの地区活動方針が「あなたの街でロータリーを！ あなたの街からロータリーを！」と言う事で自らが発信して行く中で周囲の者を共振させて、その伝播するモノに加速度をつけて行こうという向きがあった様に感じています。

まさに今回については、大会運営者の気持ちがかもった様々なアイデアが盛り込まれ、特に村井ガバナーの想いが分かりやすく反映されていたのではないのでしょうか？

今年は、青少年・学友フォーラムを前面に打ち出し、青少年交流事業における留学を体験した学生の生き生きとした生の言葉の発露は、こちらに向けての感謝の言葉とともに心に深く突き刺さり我々の存在意義を強く、また誇らしく感じさせて頂くものでありました。

これなどは、まさにガバナーの考えがリーダーシップを発揮された好い例でしょう。

また、初日の素晴らしい生演奏によるR I会長代理の歓迎晩餐会、2日目のユーモアあふれる浅田次郎氏の講演等、丁寧にしつらえたロー



タリーの親睦と友情の溢れる、おもてなしの心を随所に感じさせる演出でした。

最後に感極まったの鈴木実行委員長の気持ちたるや、推察出来るものでした。どのクラブでさえ、こうしたことにチャレンジすることの尊さを改めて訴えて下さったことに大きな意味があったと感じました。



素晴らしい大会設営に心震えるものがありました。
関係者の皆様に心から感謝の意を示させていただきます、
本当にありがとうございました。